

有楽町線・副都心線新型車両 17000 系いよいよデビュー！

2021年2月21日（日）より運行開始します！

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村 明義、以下「東京メトロ」）では、有楽町線・副都心線新型車両 17000 系を 2021 年 2 月 21 日（日）より運行開始します。

17000 系は、約 45 年にわたって活躍中の有楽町線・副都心線 7000 系に代わって導入される新型車両です。有楽町線・副都心線は相互直通運転により埼玉県から神奈川県までの広いネットワークを形成しており、幅広いお客様により親しみを感じていただけるよう、丸型のヘッドライトを採用し、車内空間を有楽町線・副都心線のラインカラーの色彩に同調させたスタイリッシュなデザインとし、開放感を感じられるようにしました。

本車両は、総合指令所などから走行車両の機器状態をモニタリングするシステムの導入、消臭・抗菌・抗ウイルス加工が施された座席表地の採用、そして各車両のフリースペース設置や、その近傍のドアレールに切り欠き加工を行い、車いすやベビーカーをご利用のお客様の乗降性を向上させるなど、従来の車両に比べ安全性・快適性が飛躍的に向上しました。それらの取組みが評価され、「2020 年度グッドデザイン賞」（公益財団法人日本デザイン振興会主催）を受賞しました。

今回の導入を皮切りに、2022 年度までに全 21 編成 180 両が導入され 7000 系と置き換える予定です。

新しくデビューした有楽町線・副都心線の新型車両 17000 系に是非ご乗車ください。



有楽町線・副都心線 新型車両 17000 系の主な特徴

1. デザイン

・エクステリア

従来の 7000 系や 10000 系を連想させるような丸型のヘッドライトを採用するとともに、車端上部に車いす・ベビーカーをご利用のお客様にフリースペースの位置が分かりやすいようサインを掲示します。

・インテリア

車内空間を有楽町線・副都心線ラインカラーの色彩に同調させたスタイリッシュなデザインにするとともに、連結面、座席横の仕切り、及び荷棚に透明な強化ガラスを採用し、車内の開放感を高めています。



7000 系

10000 系

17000 系



フリースペース



ピクトグラム

2. 安全・安定性の向上

・丸ノ内線 2000 系車両から運用を開始した「TIMA システム（車両情報監視・分析システム）」を導入し、走行する 17000 系車両の機器状態を、総合指令所や車両のメンテナンスを行う部署から遠隔でモニタリングします。

・犯罪行為の未然防止に備え、車両内へセキュリティカメラを搭載します。



インテリア

3. 車内快適性の向上

・消臭、抗菌、抗ウイルス加工が施された座席表地を採用します。

・全車両にフリースペースを設置します。

・車両とホームの段差を低減します。

- 車両床面の高さを低減（1,200 mm→1,140 mm）

- ドア出入口下部の形状をホーム側に傾斜

・フリースペース付近のドアのレールに切り欠きを施し、車いすやベビーカーをご利用のお客様の乗降性を向上します。

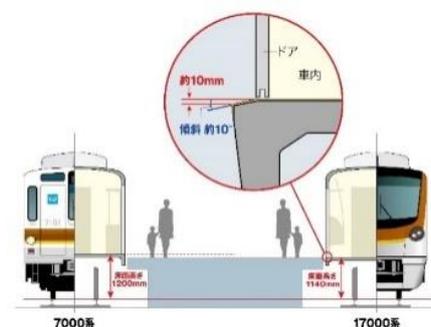
・情報提供を充実します。

- 車内案内表示の多言語対応（英語、中国語、韓国語）

- 運行情報等の提供



セキュリティカメラ



7000系

17000系

車両床面の高さ低減・ドア出入口下部形状のホーム側への傾斜

4. 環境負荷低減

・従来の 7000 系と比べて、高効率な永久磁石同期電動機 (PMSM) とシリコンカーバイド (SiC) 素子を利用した制御装置の採用により消費電力量を削減します。



ドアレールの切り欠き（フリースペース付近）